

第2章 町田市の子どものとりまく状況

1. 町田市の子どもと家庭

(1) 人口の推移

町田市の年少人口は、2003年には総人口の13%ですが、2015年には、総人口の12%に減少するものと推計されます。一方、65歳以上の老年人口については、2015年には総人口の26%になると推計されます。

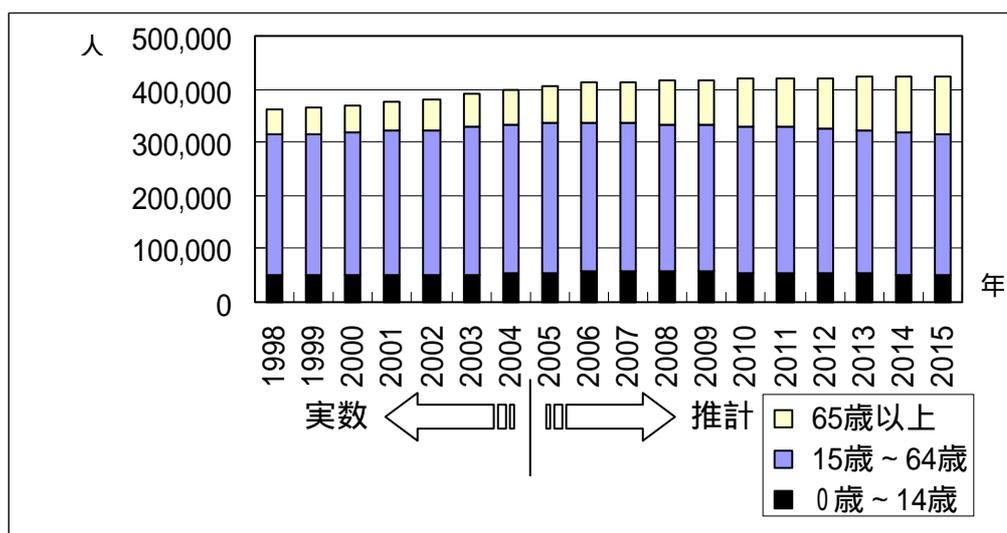


図 町田市の年齢三区分別人口推移 (1998～2015年)

資料：町田市企画部政策審議室 2004年1月1日時点の推計

就学前児童の人口は、2006年以降年々減少することが予測されます。

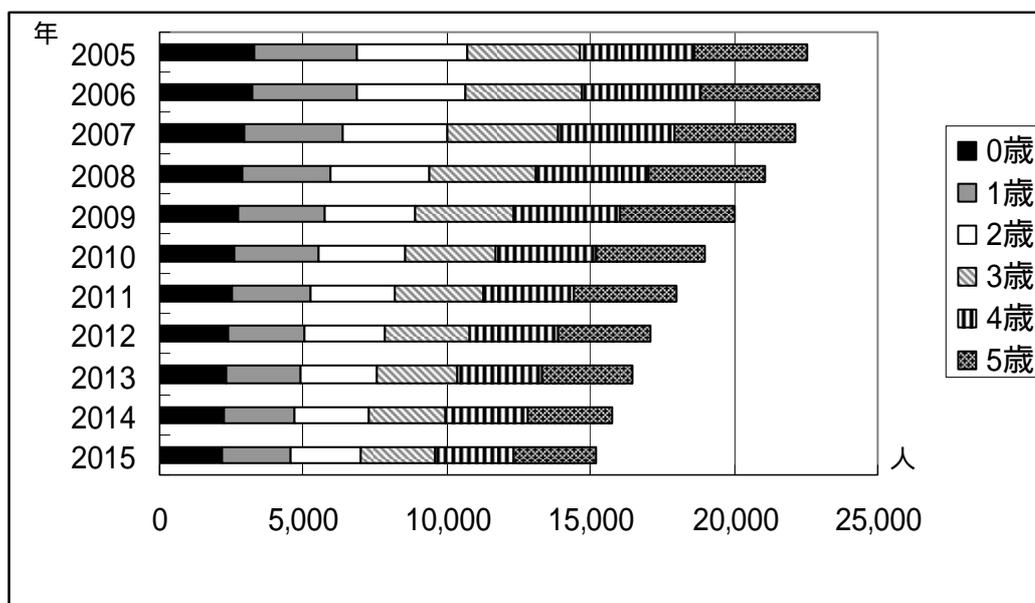


図 町田市の0～5歳までの人口推移 (2005～2015年)

資料：町田市企画部政策審議室 2004年1月1日時点の推計

0～18歳人口は、2006年以降年々減少することが予測されます。

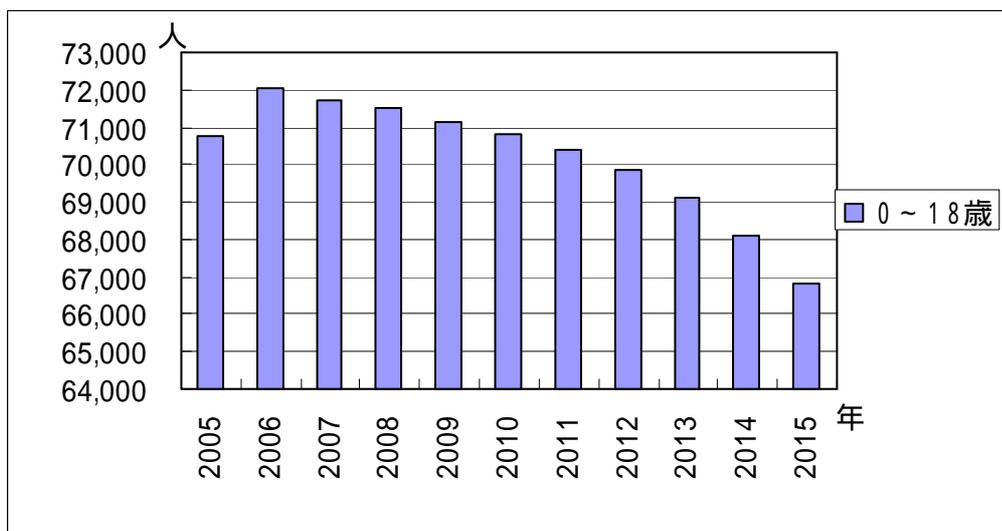


図 町田市の0～18歳までの人口推移（2005～2015年）

資料：町田市企画部政策審議室 2004年1月1日時点の推計

（2）出生数の推移

町田市の出生数は、微増傾向が続いています。

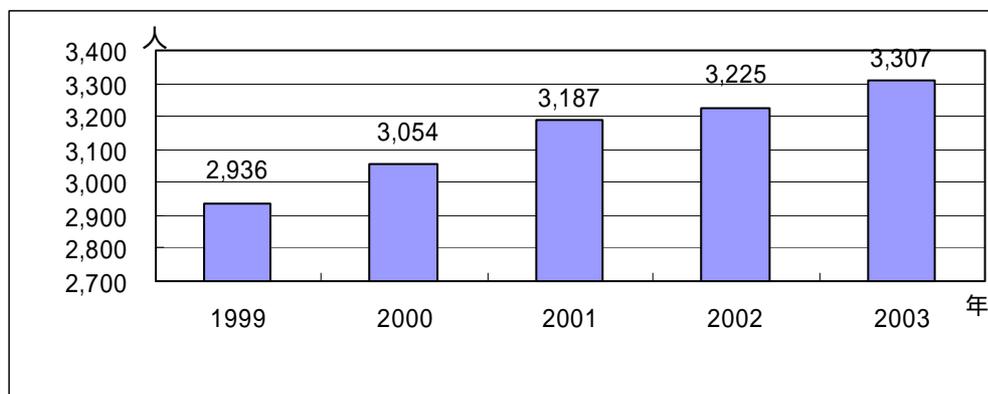


図 町田市の出生数（1999～2003年）

資料：東京都総務局「人口の動き（平成15年中）」

(3) 合計特殊出生率

現在の人口を維持するために必要な合計特殊出生率は概ね 2.08 といわれていますが、町田市の場合、多少の増減はあるものの、合計特殊出生率は 1.10 となっています。

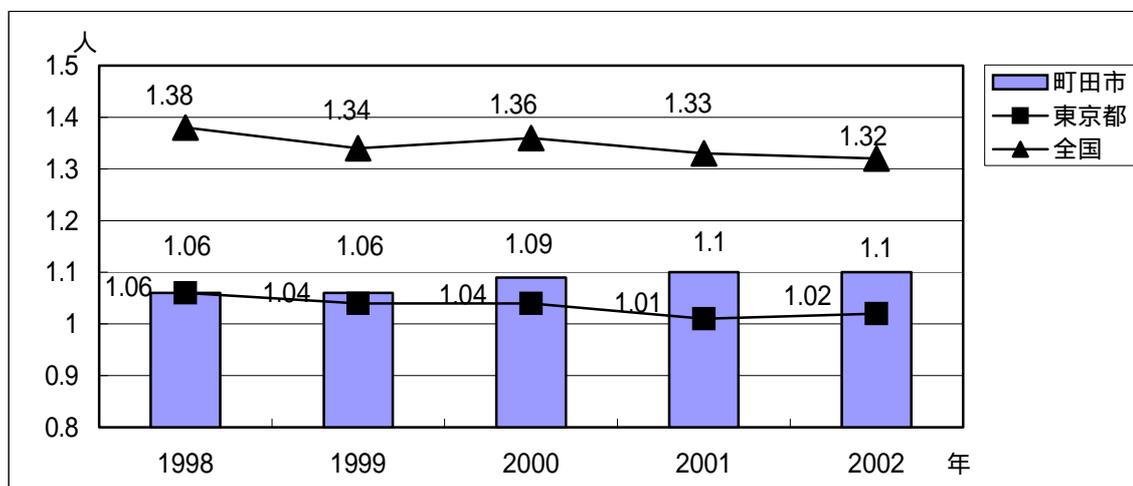


図 合計特殊出生率 (1998～2002年 東京都・全国との比較)

資料：東京都健康局 「衛生統計(人口動態統計)」

(4) 女性の就労状況

25-29歳と50-54歳の就業者数は多く、30-49歳は少なくなっておりM字型を描いています。

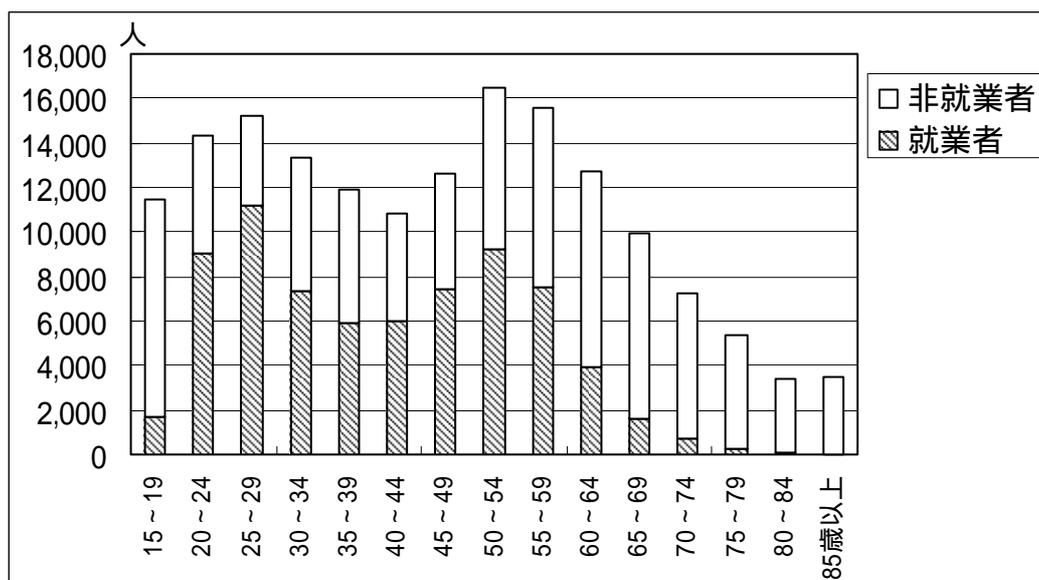


図 女性の年齢別就業状況 (2000年)

資料：総務省統計局「平成12年国勢調査」

(5) 核家族世帯

核家族世帯の増加が見られます。

一般世帯数に占める核家族世帯数の割合は、東京都が52%前後であるのに対し、町田市は65%前後を占めています。

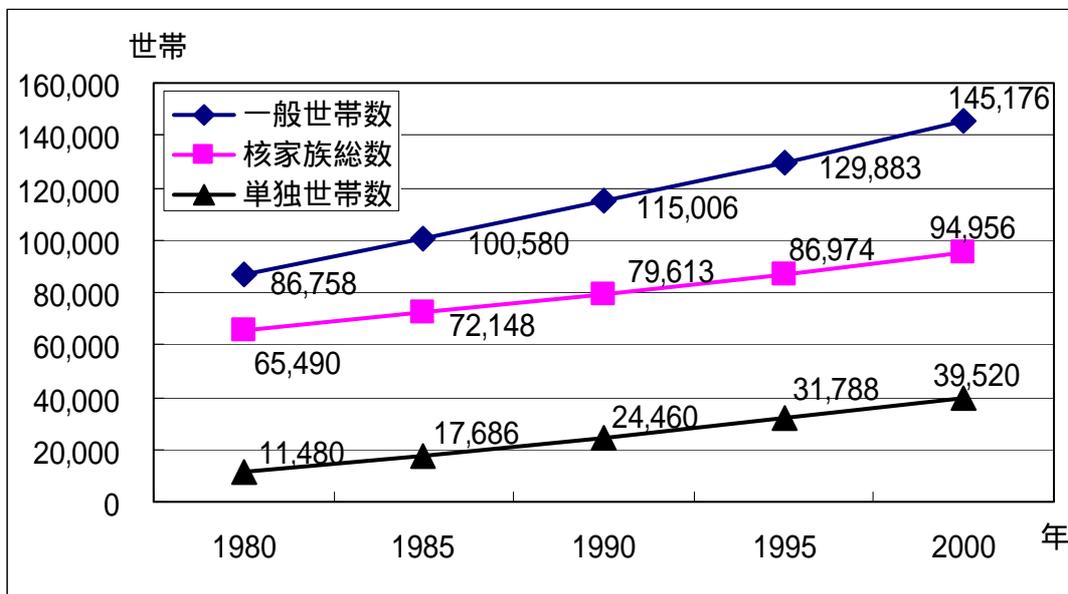


図 核家族世帯数の推移

資料：総務省統計局「国勢調査」

(6) ひとり親の世帯の状況

20歳未満の子どもを持つひとり親世帯のうち、特に母子世帯は増加傾向が見られます。

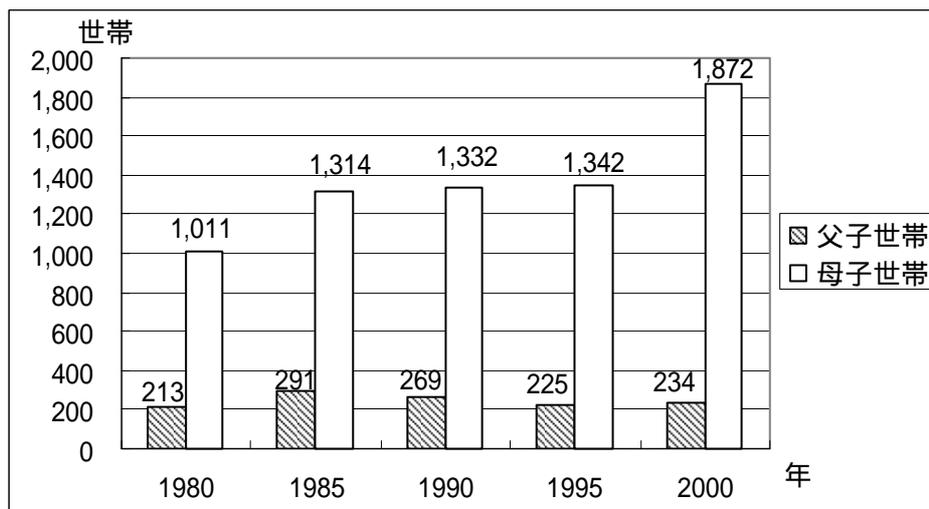


図 ひとり親世帯数の推移

資料：総務省統計局「国勢調査」

(7) 転入・転出者

町田市への転入は、20～34歳が最も多くなっています。

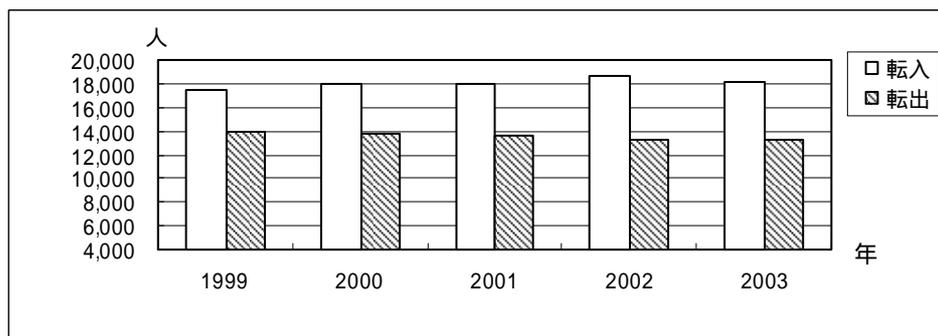
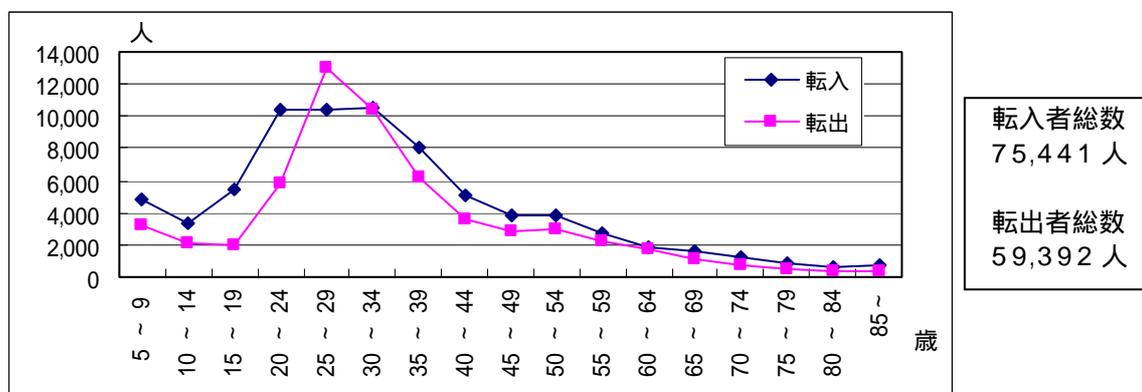


図 転入・転出者数の推移 (1999～2003年)

資料：東京都総務局「人口の動き」(2003年)



* 1995年の国勢調査を追跡調査したもののなので、5歳からの分布図になっています。

図 年齢別転入・転出者数 (2000年)

資料：総務省統計局「平成12年 国勢調査」

(8) 子ども家庭支援センター相談件数

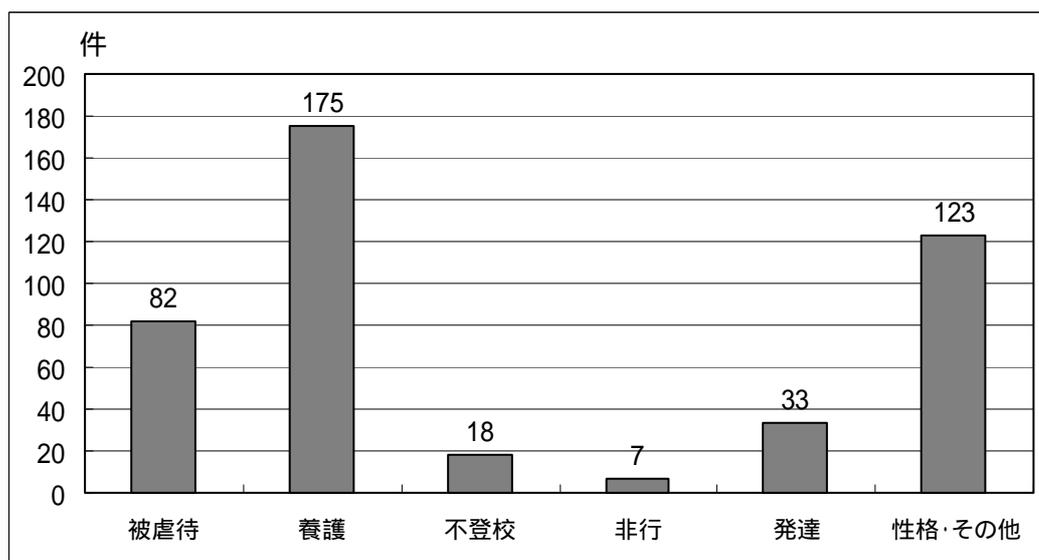


図 子ども家庭支援センター相談内容別件数 (2003年度)

資料：子ども家庭支援センター

(9) 虐待に関する相談件数

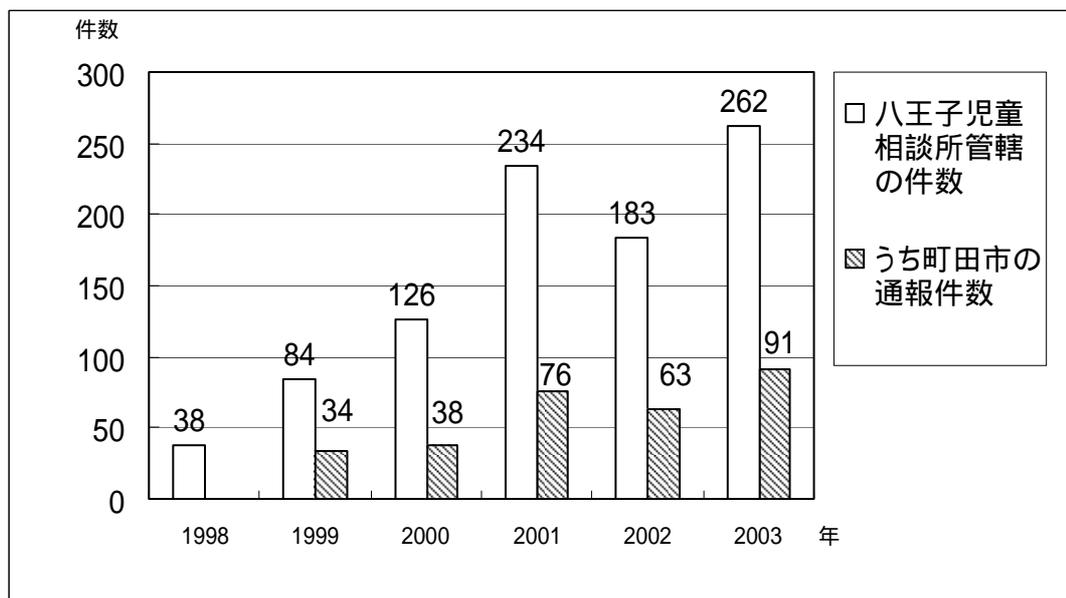


図 相談（被虐待児童）受案件数の推移（1998年～2003年）
 八王子児童相談所は、八王子市・町田市・日野市を管轄しています。
 資料：子ども虐待防止対応マニュアル（子ども家庭支援センター）

(10) 不登校児童数

公立小・中学校の不登校児童数は、多少の増減があるものの、1998年当時と比較して増加しています。

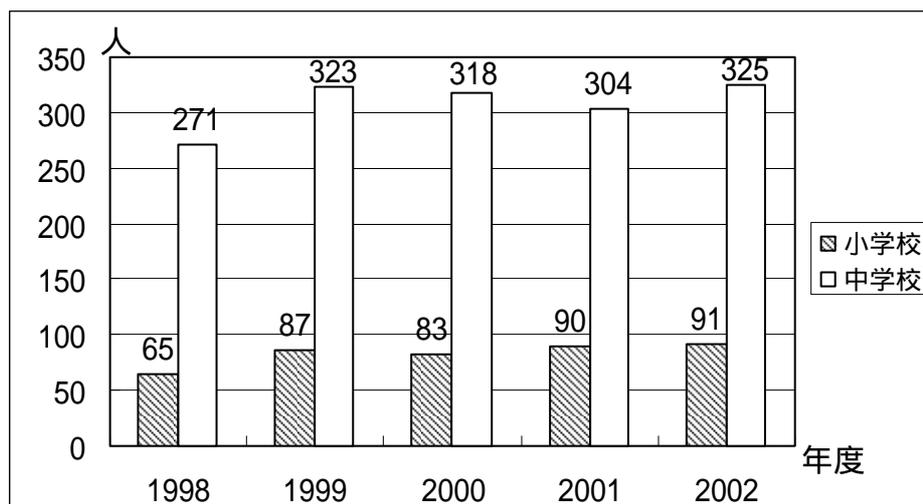


図 不登校児童数（公立）

資料：町田市統計書「理由別長期欠席生徒数（公立）」学校教育課学務課

